

## 平成 27 年度サイン及びデザインの実施報告

永原達哉 \*

### 概要

平成 27 年度、サイン委員会で実施した各種ポスター、館内での表示サイン、また各種プログラムのポスターや、ショップ関連商品のデザインなどの報告を行う。

#### 1. はじめに

大阪市立科学館で実施するいろいろな事業において、私がデザインしたチラシやポスター、またはサインなどを以下のとおり分類して紹介する。

#### 2. サイエンスショー

##### 2-1. 製作にあたって。

サイエンスショーの館内ポスターは正面玄関から入ったところに設置しているホワイトボード下、チケットカウンター横、プラネタリウム・ホール入口前のホワイエ、そして展示場地下1階エレベーター入口付近、計4か所にB2縦サイズのパスターを掲出する。ホワイトボードには、サイエンスショーの案内枠に220mm×300mmサイズの変形ポスターを掲出する。次に2機あるシースルーエレベーター内にA3横サイズのパスターを各1枚ずつ掲出する。サイエンスショー・コーナー前に724mm×510mm横サイズの変形ポスターを掲出する。この他にもマスコミ用素材として、またホームページ素材用として用途に合わせて作成するが、基本サイズとして、横をA3、縦をB2で統一している。以下紹介するポスターはこれら縦横の基本サイズである。

##### 2-2. 飛ばしてみよう(2015年3月5日～5月31日)

担当:大倉学芸員



##### 2-3. 赤青緑の光サイエンス

(2015年6月5日～8月30日)

担当:小野学芸員



\*nagahara@sci-museum.jp

2-3. フシギな偏光板

(2015年9月1日～11月29日)

担当:長谷川学芸員



2-4. あかりのひみつ

(2015年12月4日～2016年2月28日)

担当:大倉学芸員



2-5. まるくなる水のチカラ～水の表面張力～

(2016年3月3日～5月29日)

担当:岳川学芸員

3. プラネタリウム

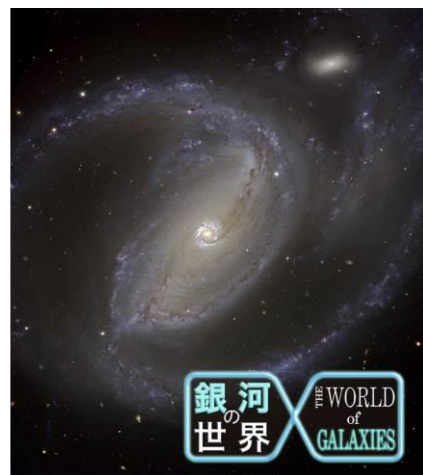
プラネタリウムのポスターについては、基本的にはメインになる画像が決まっていることが多いので、タイトル・ロゴだけをデザインすることが多い。

3-1. ギリシア神話の星たち

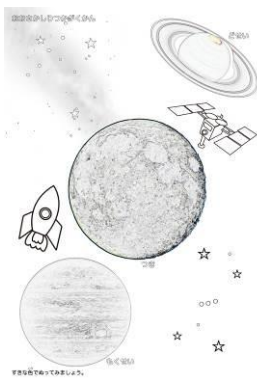
(2015年9月1日～11月29日)



3-2. 銀河の世界 (2016年3月3日～5月29日)



3-2. ファミリータイム



A4チラシ: 左 - 表面、右 - 裏面



左: A4チラシ表面、右: A4チラシ裏面

4. イベント

イベントの広告デザインについては、チラシやポスターがメインになる。仕様としては、チラシの場合、通常は仕上がりサイズが縦A4。マットコート(半光沢)90kg紙といわれる、一般で使われる紙より少し厚めを使用。これは角が折れにくく、触った感触が良い。コート紙に比べて発色は劣るが、手垢などつきにくく、何度か手にとっても、汚れづらいのが特徴である。ポスターの場合は縦B2。マットコート160~180kg紙を使用。厚みが固定ではないのは、業者に発注する場合と館内の大型プリンターで出力する場合で違うからである。

基本的にはチラシとポスターのデザインを担当するが、4-2.「光とあかり展」のように、イベント・イメージの統一性を図るために、館内各所の設置する看板や展示パネル等の基本デザインも担当した。

4-1. 花火の色とひかり

(2015年7月1日~8月30日)



B2ポスター

4-2. 光とあかり展

(2015年10月10日~12月27日)



A4チラシ: 左 - 表面、右 - 裏面



B2: 事前告知用ポスター



変形: 展示場あいさつ看板



変形: 展示場吊り看板



変形: 地下1階展示場入口用看板



B2: 展示解説パネル

4-3. We are, 科学デモンストレーターズ 2015  
(2015年11月3日)



B2: 事前告知用ポスター



左: A4チラシ表面、右: A4チラシ裏面



4-4. サイエンスガイドの日 (2015年12月6日)



左: A4チラシ表面、右: A4チラシ裏面



4-5. オーロラのひかりに包まれて  
(2015年12月25日・26日)



B2ポスター



左:A4チラシ表面、右:A4チラシ裏面

4-5. 科学実験大会2016

(2016年2月11日)



B2ポスター



B2ポスター



時間	会場	内容	備考
10:00~12:00	大阪市立科学館	開会式・開会式後、各ブースへ移動	
10:00~12:00	大阪市立科学館	ワークショップ	ワークショップは、各ブースにて実施
10:00~12:00	大阪市立科学館	展示	
12:00~13:00	大阪市立科学館	昼食	
13:00~15:35	大阪市立科学館	展示	
13:00~15:35	大阪市立科学館	ワークショップ	ワークショップは、各ブースにて実施
13:00~15:35	大阪市立科学館	展示	
15:35~16:00	大阪市立科学館	閉会式	

B2ポスター



左:A4チラシ表面、右:A4チラシ裏面

左:A4チラシ表面、右:A4チラシ裏面

4-6. 2人の博士がはなす

—電気科学館&大阪帝大—

(2016年3月13日)



A4チラシ(片面のみ)

スペシャル・サイエンスショーのステージ用看板



左:「子どもパソコンでプログラミングに挑戦!」の会場入口看板

右:「科学工作教室」導入用看板

4-7. 平成28年電気記念日催事業

「電気と磁石のふしぎな関係!」

(2016年3月21日)

5. ミニブック

ミニブックは基本的に学芸員が個々が執筆するものであるが、5-2. のように共著の場合もある。デザインは装丁だけの場合、また5-4. 「スーパー磁石で大冒険」のように全ページをデザインする場合もある。

5-1. 花火の化学

著者: 岳川学芸員



右: 表紙、左裏表紙

5-2. 光とあかり

共著: 大倉学芸員、小野学芸員、加藤学芸員  
(大阪歴史博物館)、西野学芸員、  
長谷川学芸員、渡部学芸員



右: 表紙、左裏表紙



5-3. 生薬Ⅱ

著者: 小野学芸員



右: 表紙、左裏表紙



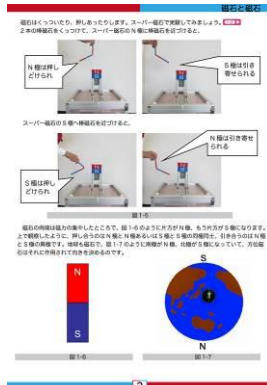
5-4. スーパー磁石で大冒険

著者: 齋藤学芸員

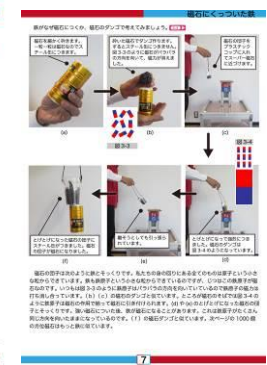
※中面を一部紹介



右: 表紙、左裏表紙



左: 中面2ページ目 右中面3ページ目



左: 中面3ページ目、右中面4ページ目

5. ミュージアム・ショップ、

5-1. オリジナル缶キャンディ

担当者より“大人の顧客をイメージしてデザインして欲しい”という要望、そしてプラネタリアムの画像を使って欲しいという要望から、星座と星座の間の空間を使って、明朝体のフォントでシンプルなデザインをした。



左：データ、右：完成品

### 5-1. 科学デモンストレーター



### 5-2. ショップ袋

ショップ袋もプラネタリウムの投影風景を使って欲しい、という要望があった。このような製作物の場合、デザインをする際の制約がある。紙ではなくビニールに印刷をするために、細かい模様やデザインは向いていない、またグラデーションなども使えない。よってこのようなシンプルなデザインをした。



左：データ、右：完成品

### 5-2. モバイルプラネタリウム解説者



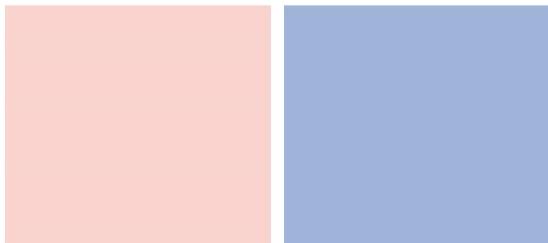
### 5-3. ジュニア科学クラブ



左：データ、右：完成品

## 5. IDパス、会員バッジ

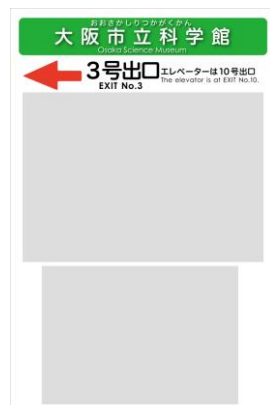
以下の2種類のIDパスとジュニア科学クラブ会員用バッジをデザインした。毎年アメリカにあるパントン社から出されるその年の色を使ってデザインをする。パントン社とは、テキスタイルや工業製品、グラフィックなど、あらゆる分野において基本色となる“パントン・マッチング・システム”を製作している会社である。2016年のイヤー・カラーは2色、ローズ・クォーツ(C:0, M:24, Y:15, K:0)とセレニティ(C:42, M:24, Y:3, K:0)である。



左：ローズクォーツ、右：セレニティ

## 5. その他

広報の依頼で地下鉄「肥後橋駅」北改札口(5-1)と駅長室前付近(5-2)に設置している科学館案内看板をリニューアル・デザインした。



5-1. 左：データ、右：完成品



5-2. 左:データ、右:完成品

### 5-3. アトリウム看板のデザイン

展示場をより楽しんでもらうために各階の展示を楽しんでいる来館者の写真を使いデザインした。また平成27年度より始めた「学芸員による展示場ガイド」の案内をモニター映像と合わせてデザインした。学芸員による展示場ガイドは別枠で研究報告誌に掲載している。



## 6. 最後に

科学館でデザインを行う上で大切なこと、それは小さな子どもから大人まで幅広い年齢層に対応しないといけないために、常にイメージを固定しないことである。それはサイエンスショーだから、プラネタリウムだからという概念に縛られないことである。まずは担当者の希望を聞き、提供された素材などを見てから考える。

製作中は浮かんでくるイメージを潰さずに、科学の原理に忠実にデザインすることを心がけている。